

「SOS が出せる地域をめざして」

一般社団法人栃木県手をつなぐ育成会

会長 小島 幸子

栃木県手をつなぐ育成会のホームページへの訪問ありがとうございます  
7月、とあるところの車の中で経管栄養を注入している娘さんを見かけて  
思わず声をかけてしまいました（ドアは、開いてました）  
特別支援学校の訪問教育を受けていて、訪問診療や訪問看護、身体介護のヘルパーも必要を  
感じてないから受けてないとのことです  
放課後デイも契約はしているが、新型コロナウイルス感染拡大のこともあり利用していな  
い。注入方法が複雑でとても人に任せられないと言われました  
買い物は、宅配。母が用事の時は近所の方に付き添いのボランティアをお願いし、車の中で  
一緒に待ってもらっているとのこと、ボランティアの女性も私の話を微笑んで聞いてく  
れました

「困ったことがあったら電話下さい」名刺を渡しました

「困っていることなんて何もないです」とお母さん。その他、私の息子の紹介をして一昨年  
長い期間入院して大変だったことや市の自立支援協議会医療的ケアワーキングの委員をし  
ているなどとペラペラ話をしました

あとで「変なおばちゃんと思われたらうな」と反省、相変わらず思うとすぐ行動に移して  
しまう、おせっかいおばちゃんの私です

そのことを医療的ケアが必要なお子さんがいる育成会の後輩に話しました。後輩は、小児科  
の医師でもあります

「幸子さん、本当に苦しい時って SOS 出せないよね」とあー、確かに。自分もです

「大丈夫ですか？元気ですか？」と聞かれると元気でもないのにとっさに「はい、元気です  
よ」と答えてしまいます

そしてつい先日、同じところで見覚えがある女性が！

「ホームページ拝見しました。電話しようと思いましたがお忙しいかと思い・・・」

と

「いやいや～忙しくなんかないのよ。いつでも電話ちょうだいね」と笑顔で別れました  
組織を信頼してもらうにはやはりホームページが重要だと感じました。しかも会長の顔写  
真付き（笑）

とうことで出来るだけホームページのあいさつを更新していきますので、またご訪問下さ  
い

どうぞよろしく申し上げます